

読書のすゝめ

その22 H 29 10 / 4

中秋の名月【10月4日】

秋を初秋（旧暦7月）、仲秋（同8月）、晩秋（同9月）の3つに区分した場合、「仲秋」とは、旧暦8月全体をさします。ですから、**仲秋の名月とは、旧暦の8月の満月のこと**になります。それに対して、「**中秋**」とは「**秋の中日**」＝**旧暦の8月15日**のみをさします。ですから「中秋」で満月というのは出る確率が少なく、今年10月4日が中秋の名月、10月6日が満月となり、中秋の名月と満月の日付が2日ずれています。それでも満月前後の月はとても明るく見えたえががあります。今年中秋の名月も、満月と遜色のない美しい月を楽しむことができますとよいですね。

新着図書から

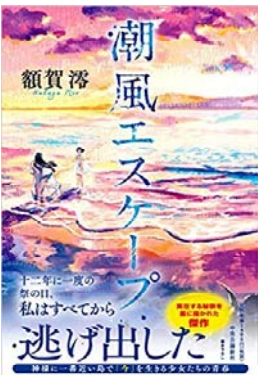
『顔二モマケズ』水野敬也（文響社）



「人は外見じゃない。中身が大事だ」一般的にはよく言われる言葉ですが、実際はどうでしょう？外見へのこだわりや劣等感は幸福を大きく左右する問題だと感じていませんか？
筆者はNPO法人マイフェイス・マイスタイルの協力のもと、見た目に傷やアザなどの症状を持つ「見た目問題」当事者の方たちと会話を重ね、外見から生まれる仕事や恋愛の問題をどのように乗り越えていったのかを学び、本書ができました。

リンパ管種・動静脈奇形・口唇口蓋裂・全身型円形脱毛症・アルビノなどによる、それぞれの「見た目問題」を抱えた9人の方の生き方に、現在何かしらコンプレックスや悩みを持つすべての人に力ももらえることと思います。

『潮風エスケープ』額賀澤（中央公論新社）



高校生の深冬は、思いを寄せる優弥とともに、彼の故郷・潮見島を訪れる。島の伝統「潮祭」が開かれる夏のことだった。深冬が出会ったのは、祭の神女となるために自分の未来を捨てた少女・柑奈。彼女の生き方に、深冬は疑問と嫌悪感を抱く。なぜ柑奈は伝統に縛られることを望むのか？そしてある人物の来訪で明かされた、十二年前の悲しい真実とは？消えゆく伝統と先の見えない将来。まっすぐな恋とゆがんだ友情。それぞれの思いが交錯するとき、十二年に一度の祭が幕を開ける。

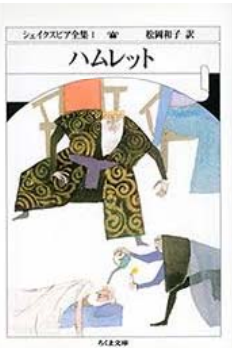
シリーズでこんな本はいりました！

※CD付「ディズニーの英語」シリーズ16冊 絵もきれいで訳もついていますよ！



※シェイクスピア全集28冊

文庫で読みやすいものです。



いよいよ『読書の秋』本番です！
秋の夜長にあなたは何を読みますか？



月は隈なきとのみ見るものかは・・・